

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月13日

【四半期会計期間】 第146期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 日本精化株式会社

【英訳名】 Nippon Fine Chemical Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役 矢野 進
執行役員社長

【本店の所在の場所】 大阪市中央区備後町2丁目4番9号

【電話番号】 06(6231)4781

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員 深瀬 真一
管理本部長兼経理部長

【最寄りの連絡場所】 大阪市中央区備後町2丁目4番9号

【電話番号】 06(6231)4781

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員 深瀬 真一
管理本部長兼経理部長

【縦覧に供する場所】 日本精化株式会社 東京支店
(東京都中央区日本橋小伝馬町4番9号
小伝馬町新日本橋ビルディング)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第145期 第2四半期 連結累計期間	第146期 第2四半期 連結累計期間	第145期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(百万円)	11,689	11,236	23,545
経常利益	(百万円)	776	881	1,945
四半期(当期)純利益	(百万円)	474	509	1,186
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	81	1,107	1,967
純資産額	(百万円)	24,141	26,608	25,749
総資産額	(百万円)	31,487	32,523	32,285
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	19.98	21.46	49.95
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	75.23	79.86	77.91
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	510	181	1,138
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	662	140	2,599
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	274	254	541
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	2,710	1,268	1,181

回次		第145期 第2四半期 連結会計期間	第146期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	6.42	13.01

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出環境の改善や政府による各種政策の効果により、景気は緩やかな回復基調にあるものの、世界経済を巡る不確実性を背景とした景気の下振れリスクが存在するなど、依然として先行きは不透明な状況で推移してまいりました。

このような事業環境のなかで、当社グループは新製品上市による競争力の強化、新規テーマの獲得とその拡販に努めてまいりましたが、工業用製品事業において、植物性油脂の販売が減少したことなどにより、売上高が減少いたしました。また、その他の事業において、医薬品業界からの薬理・安全性試験の受託減により、利益が減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は112億3千6百万円（前年同四半期比3.9%減）と減収となりました。利益面では営業利益7億4千8百万円（同1.3%減）、経常利益8億8千1百万円（同13.5%増）、四半期純利益5億9百万円（同7.4%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

工業用製品事業

当セグメントにおきましては、植物性油脂の販売が減少したことなどにより売上高は減少いたしました。この結果、医薬用プレソームの出荷など、製品構成の良化により利益は増加いたしました。この結果、売上高は81億5千9百万円（前年同四半期比4.3%減）、セグメント利益（営業利益）は5億2千5百万円（同2.8%増）となりました。

家庭用製品事業

当セグメントにおきましては、新規顧客の獲得などに注力したことにより売上高、利益ともに増加いたしました。この結果、売上高は26億6千5百万円（前年同四半期比2.5%増）、セグメント利益（営業利益）は2億2百万円（同10.9%増）となりました。

不動産事業

当セグメントにおきましては、マンション分譲事業からの撤退により売上高は減少いたしました。この結果、売上高は1億5千2百万円(前年同四半期比36.7%減)、セグメント利益(営業利益)は5千6百万円(同16.6%増)となりました。

その他の事業

当セグメントにおきましては、医薬品業界からの薬理・安全性試験の受託減により売上高が減少し、損失が発生いたしました。この結果、売上高は2億5千9百万円(前年同四半期比19.8%減)、セグメント損失(営業損失)は3千5百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度に比べ8千7百万円増加し、12億6千8百万円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ3億2千9百万円収入が減少し、1億8千1百万円の収入となりました。その主な内訳は、税金等調整前四半期純利益による資金の増加8億9千3百万円、売上債権の減少による資金の増加7億7千3百万円、たな卸資産の増加による資金の減少8億8千6百万円、仕入債務の減少による資金の減少5億5千8百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ8億2百万円増加し、1億4千万円の収入となりました。その主な内訳は、定期預金の預払による資金の増加2億4千4百万円、有形固定資産の取得による資金の減少2億2千万円、投資有価証券の売却による資金の増加1億2千6百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ1千9百万円支出が減少し、2億5千4百万円の支出となりました。その主な内訳は、配当金の支払額2億3千7百万円であります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は2億3千2百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	38,413,600
計	38,413,600

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	25,372,447	25,372,447	東京証券取引所 (市場第一部)	権利内容になんら制限のない 当社における標準となる株式 であり、単元株式数は100株 であります。
計	25,372,447	25,372,447		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月30日		25,372		5,933,221		6,803,362

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
太陽鋳工株式会社	神戸市中央区磯辺通1丁目1番39号	3,833	15.11
日本精化企業持株会	大阪市中央区備後町2丁目4番9号	1,891	7.46
日本精化株式会社 (注)	大阪市中央区備後町2丁目4番9号	1,622	6.40
日油株式会社	東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号	1,039	4.10
東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区丸の内1丁目2番1号	811	3.20
株式会社資生堂	東京都中央区銀座7丁目5番5号	670	2.64
日本精化従業員持株会	大阪市中央区備後町2丁目4番9号	602	2.38
双日株式会社	東京都千代田区内幸町2丁目1番1号	540	2.13
小野薬品工業株式会社	大阪市中央区道修町2丁目1番5号	394	1.55
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社 (信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	360	1.42
計		11,767	46.38

(注) 当社が保有する自己株式であります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,622,600		権利内容になんら制限のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 23,725,100	237,251	同上
単元未満株式	普通株式 24,747		同上
発行済株式総数	25,372,447		
総株主の議決権		237,251	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の株式数の欄及び議決権の数の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株、議決権10個が含まれております。また、単元未満株式には当社所有の自己株式77株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 日本精化株式会社	大阪市中央区備後町 2丁目4番9号	1,622,600		1,622,600	6.40
計		1,622,600		1,622,600	6.40

(注) 当社所有の单元未満株式77株は含まれておりません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,798,339	2,836,587
受取手形及び売掛金	¹ 6,618,822	5,856,366
商品及び製品	2,098,387	2,470,955
販売用不動産	39,338	68,058
仕掛品	1,469,864	1,524,335
仕掛販売用不動産	81,430	61,505
原材料及び貯蔵品	2,210,126	2,690,914
繰延税金資産	211,972	198,076
その他	440,538	184,692
貸倒引当金	9,472	9,439
流動資産合計	15,959,346	15,882,054
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,952,721	3,887,271
機械装置及び運搬具(純額)	2,268,858	2,114,970
土地	3,906,943	3,906,943
建設仮勘定	968	968
その他(純額)	369,537	381,610
有形固定資産合計	10,499,029	10,291,764
無形固定資産	388,350	381,553
投資その他の資産		
投資有価証券	4,932,517	5,579,185
その他	505,852	388,461
投資その他の資産合計	5,438,370	5,967,646
固定資産合計	16,325,749	16,640,964
資産合計	32,285,096	32,523,018

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	¹ 3,378,239	2,846,885
未払金	450,513	350,824
未払法人税等	459,640	299,737
繰延税金負債	3,071	-
賞与引当金	384,196	375,584
役員賞与引当金	31,549	16,429
設備関係未払金	187,247	188,638
その他	382,823	340,717
流動負債合計	5,277,282	4,418,817
固定負債		
繰延税金負債	547,481	796,459
退職給付引当金	518,634	508,890
長期未払金	45,173	39,307
長期預り保証金	94,489	95,034
資産除去債務	26,230	26,230
その他	26,078	29,388
固定負債合計	1,258,087	1,495,310
負債合計	6,535,369	5,914,128
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,933,221	5,933,221
資本剰余金	6,803,362	6,803,362
利益剰余金	12,376,807	12,649,071
自己株式	1,022,109	1,022,230
株主資本合計	24,091,282	24,363,425
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	935,522	1,358,680
繰延ヘッジ損益	4,962	590
為替換算調整勘定	120,926	250,024
その他の包括利益累計額合計	1,061,412	1,608,114
少数株主持分	597,032	637,350
純資産合計	25,749,726	26,608,890
負債純資産合計	32,285,096	32,523,018

(2)【四半期連結損益及び包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	11,689,560	11,236,773
売上原価	9,042,218	8,600,142
売上総利益	2,647,341	2,636,630
販売費及び一般管理費	¹ 1,888,547	¹ 1,887,764
営業利益	758,793	748,866
営業外収益		
受取利息	5,439	5,879
受取配当金	59,443	65,829
為替差益	-	35,752
雑収入	18,600	27,726
営業外収益合計	83,482	135,187
営業外費用		
支払利息	1,980	1,784
為替差損	62,929	-
雑損失	1,042	1,033
営業外費用合計	65,952	2,817
経常利益	776,324	881,235
特別利益		
固定資産売却益	90	1,130
投資有価証券売却益	-	106,257
特別利益合計	90	107,388
特別損失		
固定資産売却損	1	-
固定資産除却損	1,907	255
訴訟関連損失	-	² 95,258
特別損失合計	1,908	95,513
税金等調整前四半期純利益	774,506	893,110
法人税、住民税及び事業税	275,075	336,826
法人税等調整額	3,964	29,785
法人税等合計	271,111	366,612
少数株主損益調整前四半期純利益	503,394	526,498
少数株主利益	28,826	16,734
四半期純利益	474,567	509,763
少数株主利益	28,826	16,734
少数株主損益調整前四半期純利益	503,394	526,498
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	277,056	423,157
繰延ヘッジ損益	8,744	6,154
為替換算調整勘定	136,229	163,769
その他の包括利益合計	422,029	580,772
四半期包括利益	81,364	1,107,270
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	81,374	1,056,465

少数株主に係る四半期包括利益

9

50,804

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	774,506	893,110
減価償却費	383,433	543,654
のれん償却額	740	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	14	33
退職給付引当金の増減額(は減少)	5,108	9,743
受取利息及び受取配当金	64,882	71,709
支払利息	1,980	1,784
為替差損益(は益)	47,951	44,844
投資有価証券売却損益(は益)	-	106,257
有形固定資産除売却損益(は益)	1,818	875
訴訟関連損失	-	95,258
売上債権の増減額(は増加)	243,875	773,536
たな卸資産の増減額(は増加)	701,862	886,026
預り保証金の増減額(は減少)	502	544
仕入債務の増減額(は減少)	88,583	558,511
その他	31,157	75,603
小計	740,364	705,492
利息及び配当金の受取額	66,182	72,067
利息の支払額	1,980	1,784
法人税等の支払額	293,677	499,304
訴訟関連損失の支払額	-	95,258
営業活動によるキャッシュ・フロー	510,889	181,212
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	74,387	14,573
定期預金の払戻による収入	64,042	259,000
有形固定資産の取得による支出	751,037	220,599
有形固定資産の売却による収入	155	1,392
無形固定資産の取得による支出	1,328	2,688
投資有価証券の取得による支出	407	9,362
投資有価証券の売却による収入	-	126,482
投資有価証券の償還による収入	100,000	-
貸付金の回収による収入	415	425
投資活動によるキャッシュ・フロー	662,546	140,076
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	4,682	6,825
配当金の支払額	261,253	237,499
少数株主への配当金の支払額	8,555	10,486
自己株式の取得による支出	60	120
財務活動によるキャッシュ・フロー	274,552	254,931
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,557	20,760
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	440,766	87,118
現金及び現金同等物の期首残高	3,151,466	1,181,346
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 2,710,699	¹ 1,268,465

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成25年 3月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 9月30日)
受取手形	159,871千円	
支払手形	11,989 "	

(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 9月30日)
運送費	262,650千円	256,109千円
給料手当	492,638 "	488,965 "
賞与引当金繰入額	144,158 "	157,931 "
役員賞与引当金繰入額	15,488 "	16,429 "
退職給付費用	52,898 "	46,411 "
技術研究費	215,887 "	232,153 "

- 2 訴訟関連損失

連結子会社である日精興産株式会社における請負代金請求訴訟の判決確定に伴う損失であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 9月30日)
現金及び預金	3,847,569千円	2,836,587千円
定期預金	1,136,869 "	1,568,122 "
現金及び現金同等物	2,710,699千円	1,268,465千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	261,253	11.00	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月30日 取締役会	普通株式	237,502	10.00	平成24年9月30日	平成24年12月3日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	237,499	10.00	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月29日 取締役会	普通株式	237,497	10.00	平成25年9月30日	平成25年12月2日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額(注)
	工業用製品 事業	家庭用製品 事業	不動産 事業	その他の 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,523,491	2,601,683	241,538	322,845	11,689,560	-	11,689,560
セグメント間の内部 売上高又は振替高	69,609	24,489	15,308	400	109,808	109,808	-
計	8,593,101	2,626,173	256,847	323,245	11,799,368	109,808	11,689,560
セグメント利益	511,001	182,661	48,752	16,377	758,793	-	758,793

(注) セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額(注)
	工業用製品 事業	家庭用製品 事業	不動産 事業	その他の 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,159,299	2,665,565	152,873	259,035	11,236,773	-	11,236,773
セグメント間の内部 売上高又は振替高	59,580	29,358	16,984	400	106,323	106,323	-
計	8,218,879	2,694,923	169,857	259,435	11,343,096	106,323	11,236,773
セグメント利益 又は損失()	525,091	202,560	56,852	35,638	748,866	-	748,866

(注) セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	19円98銭	21円46銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	474,567	509,763
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	474,567	509,763
普通株式の期中平均株式数(株)	23,750,282	23,749,834

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

第146期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)中間配当について、平成25年10月29日開催の取締役会において、平成25年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	237,497千円
1株当たりの金額	10円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成25年12月2日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月1日

日本精化株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 後 藤 紳 太 郎 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 和 田 稔 郎 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日本精化株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日本精化株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。